

**第15回関東生乳品質共励会  
最優秀賞受賞**

株式会社  
グレイスランド  
Grace Land 殿

7月19日、東京で関東生乳販売所所属生産者1807戸が参加する第15回関東生乳品質共励会の表彰式が開催され、荻平地区組合員(株)Grace Land様が第5位となり最優秀賞(上位10位以内)、長期連続賞(4年連続最優秀賞)に選ばれました。当日は、(株)Grace Land代表取締役関内慎介様が出席し、関東生乳販売連菊池会長より表彰されました。



第15回 関東生乳品質改善共励会表彰式

前列一番左が(株)Grace Land 関内慎介 様



**第25回富士地域畜産まつり**

9月10日、第25回富士地域畜産まつりが富士ミルクランドで開催されました。畜産堆肥共励会では、広見地区(株)クリスタルフラワー様が最優秀賞、富士丘地区で堆肥生産をしている中島智博様が、優秀賞(富士開拓農協組合長賞)を受賞されました。



広見地区  
(株)クリスタルフラワー様



富士丘地区  
中島智博 様

農協では、模擬牛を使用した搾乳体験、静岡県牛乳普及協会様ご協力の下、骨密度測定を実施しました。また、広見地区酪農家の小林義幸様にご協力いただき、牧草ロールのラッピングを実演していただきました。他にも、牛乳の無料配布、堆肥の無料配布、稲わらロールレース、ロールお絵描きコーナー、大型トラクター等の展示、から揚げ、焼肉販売等、多くのイベントがあり、真夏日でしたが家族連れで賑わい、大盛況で終えることができました。



大型機械の展示



搾乳体験



ラッピング作業実演



稲わらロールレース

**帯広視察**

7月9日から11日にかけて北海道帯広地域へ農家と職員で視察研修に行ってきました。

視察先は、十勝乳牛市場、土幌町(しほろちょう)と清水町の預託牧場、上士幌町の大型牧場などで、預託牧場では預託頭数の減少による牛舎の空も目立ち、酪農情勢の悪化を北海道でも感じました。実際に現地で見聞することは刺激も多く大変勉強になりました。



十勝乳牛市場の様子



預託牧場視察の様子

**酪農講演会**

8月18日に畜産技術研究所で「明るい未来を目指す酪農経営」と題して酪農講演会を、農協主催で開催しました。

農家、関係者ら約40人にご参加いただき、講師に農林中金総合研究所の小田志保先生を招き、乳価をめぐる政府の新たな動きなど今後の酪農情勢の推移などについて講演いただきました。



講師の小田志保 先生



真剣に聞いている農家の皆さん



# 新役員さんの自己紹介

## 井出昌樹 理事



今年度より理事として就任させていただきました。井出と申します。ひとつでも皆様のお役に立てよう頑張りたいと思います。またスキルアップに繋がればと思っております。

私は幼少期より酪農に関心をもっておりました。奥深い酪農と言う職業に携わっている事に誇りを持っています。

理事としての役割において、私は開拓農協の発展と地域の農業コミュニティの支援に力を入れたいと思います。農家の方々、地域の方々の声を聞き、様々なニーズに応えるための提案を行える事が理想だと思っております。

また、持続可能な農業実践の促進や新たな市場へのアクセスを探索し、酪農の発展を目指したいです。過去に見ない大不況ですが酪農をより良くしていくために、共に努力しましょう。

右も左も分かりませんが一から学ばせていただきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

## 熊谷勝史 理事



このたび、理事に就任しました熊谷勝史です。酪農家各位ならびに職員の皆様のご助言、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

2年ほど前から家庭菜園をやり始めまして、まずは定番の作物から挑戦しています。ビニールハウスを直し、ホームセンターで苗を買うだけでなく、種から育てようと育苗施設を作り、色々失敗しながら試行錯誤しております。今年からは雑草取りの煩わしさからハウスと簡易水耕栽培装置を自作し、去年プランター栽培で虫に葉を食わすくされ失敗に終わったブロッコリーとキャベツを育て無事に収穫でき美味しく頂きました。スイカとメロンにも挑戦してみました。自然受粉の為、個数はできずメロンは収穫手前で葉が枯れてしまい、実が落ちて糖度不足で終了しました。菜園初心者ですので色々アドバイス等頂けたら幸いです。

## 城田義彦 監事



飼料価格、生産資材、燃油等すべての物資の高騰で酪農経営の危機的状況にあります。乳価の改定もありましたが、焼け石に水状態です。各農家の経営努力にも限界がきています。

今こそ農協の指導力が必要な時ではないでしょうか。農家の要望、希望を的確にアドバイス出来る様に、日々努力をしてみたいものです。

役員もこの状況を打破する為の方策を検討、実施する必要があります。微力ながら、一助になればと思っております。3年間よろしくお願いたします。

## 勝又照行 監事



「ユージーランドで1年間草地酪農を学びそこで修得した牛の健康を重視する放牧酪農経営を富士山の下に広がる草原で始めた。

富士山をバックに牛が草を食べる姿に横たわる姿に自分も癒やされたが、病になり50年続けた経営をやむなくした。今は体調も良く富士山を見に来て「うわ!!!いいね!!!」と感動してくれる方々もいるので、さまざまなおブジエを作り趣味としても楽しみ環境作りに励んでいる。

今回農協役員(監事)になり酪農家が安心して楽しく経営ができる手助けになればと思っております。

## 組合長 通信

### 通信



8月に乳価が上がりましたが消費量が大きく落ち込んだ話を聞きます。猛暑のお陰も有ります。9月以降値上げが浸透し冬季の消費減を注視しています。生産資材費上昇分全て価格転嫁出来れば良いのですが、消費者の理解を得られるまでは、行政機関からの助成金に頼らざるを得ません。

富士宮市農業政策課から粗飼料価格高騰対策支援で7000万円の補助金が全て交付できたとの報告を受けました。本州以南の市町村ではナンバーワンです。富士宮市に感謝を伝えて下さい。

酪農家である組合員は、賦課金の納付義務を負うのですから、その反面として営農指導事業を受ける権利があります。

酪農専門農協として、他の農協以上に多岐に渡る酪農に関する情報を持っていますから、欲しいサービスは地区役員を通じてどんどん挙げていただき、農協を最大限利用して下さい。

